

佐渡総合病院

令和
9年度

臨床研修のご案内



ごあいさつ



新潟県厚生連佐渡総合病院病院長 佐藤 賢治

臨床研修先を選ぶ中でこのパンフレットを手にした方は、「離島の医療」「へき地の課題」など診療技術以外に興味を持たれたものと思います。想像の通り、当院は高度医療を担う急性期病院ではありませんし、主たる患者層は後期高齢者です。医師のほとんどは新潟大学からの派遣医で、彼らが主として研修医の指導を担当します。しかし、私たちは佐渡での研修や勤務は日本の医療に貢献すると捉えています。

佐渡ヶ島、新潟県佐渡市は周囲260km余り、東京23区の1.4倍の面積を持つ日本最大の島で、人口約46,000人、高齢化率は43%を越えます。地理的特徴と人口規模から単独の二次医療圏であり、二次医療圏最先端の超少子高齢社会です。急速な少子高齢化は地方の特徴ではありません。2030年以降は大都市部を除くほぼすべての地域で佐渡と同様の人口構成に向かい、都市部では後期高齢者が急増します。疾患構成は大きく変わり、「住民の生活」の視点が一層重要となって、診断と治療に係る診療技術だけでは社会の需要に対応できない時代を迎えます。みなさんはこうした変化の最中にいて、リーダーシップを発揮する時期には超少子高齢社会の医療を采配する立場になります。

佐渡では、迫り来る超少子高齢社会に強固な連携で対応すべく具体的な対策が進められています。医療情報を共有する基盤「さどひまわりネット」、住民の生活関連情報を共有して医療福祉連携を進める「さどヘルスケアナビ」、行政・医療・介護・福祉関係者が集まって対策を協議する「一般社団法人佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会」、国・新潟県・研究機関・民間企業との多方面にわたる対応モデルの検討など、他地域のすぐ先の未来に参考になる取り組みです。これが佐渡の価値です。

佐渡総合病院は、病床数354、標榜科25、職員数620名（医師数47、研修医10）を擁し、外来患者の1/3（約1,000人/日）、島内救急搬送のほとんど（2,500件/年）、ヘリ搬送（離島着90件/年）を受け入れ、島で唯一手術・分娩・透析・精神診療が可能な中核病院です。急性期医療だけでなく、回復期医療の2/3、通院困難者への巡回診療、在宅医療の要となる訪問看護も担っています。当院は地域での連携の中で役割を実践している病院です。

佐渡で研修する意義が伝わったでしょうか。「連携の中で、住民の生活を守る」医療を直視するみなさんをお待ちしています。



1

はじめに

佐渡島内の約4万6千人の独立した二次医療圏において、佐渡総合病院では誕生から看取りまで、急性期から回復期までの様々な疾患を研修することが可能です。医療、福祉、介護も含めた、全人的なプライマリ・ケアの基本的な診療能力の取得ができるように臨床研修プログラムを作成しています。

2

臨床研修プログラム

①佐渡島臨床研修病院群研修プログラム

〈構成〉

基幹型病院：佐渡総合病院

協力型病院：新潟大学医歯学総合病院、北里大学病院、新潟医療センター、長岡中央総合病院、柏崎総合医療センター、上越総合病院、糸魚川総合病院、新潟市民病院、新潟県立新発田病院、東京西徳洲会病院、八尾徳洲会総合病院



協力施設：佐渡市立両津病院、佐渡保健所、さと訪問看護ステーション、新潟県庁

・救急部門研修

1年次：新潟市民病院・新潟県立 新発田病院・北里大学病院のいずれかで4週、および 佐渡総合病院で上級医と共に救急外来で21時までの副直を月2回行う。

2年次：上級医と共に救急外来で当直を月2回、日直を月1回行う。

・選択科目においては協力型病院、協力施設で最大12週の範囲で研修可能である。
(地域医療研修を除く)

研修分野		研修施設	期間
必修	内科・一般外来	佐渡総合病院	28週
	外科・小児科・産婦人科	佐渡総合病院	各4週
	精神科	佐渡総合病院・新潟大学医歯学総合病院	4週
	救急	佐渡総合病院	8週
		北里大学病院・新潟市民病院 新潟県立新発田病院	4週
		地域医療	4週
選択	麻酔科、放射線科等	協力型病院・協力施設	44週

研修スケジュールの例

1年次	内科28週 (一般外来含)	小児科 4週	産婦人科 4週	精神科 4週	救急12週 (当院8週/協力型病院4週)
2年次	外科 4週	地域医療 4週	選択44週 (協力型病院、協力施設12週以内を含)		

※希望により途中で変更可能

基幹型研修医を優先し、各科指導医と1対1となるよう調整(科により2名の場合あり)

研修医のスケジュール(抜粋)

ターム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
研修医 2年目	内科	呼吸器 (長岡)	放射線科 (新大)	麻酔科 (新大)	神経内科	地域医療	内科 消化器	内科 循環器	腎臓内科	(新大) 脳神経外科	未定	神経内科
研修医 1年目	科 産婦人	小児科	科 腎臓内	眼科	(上越) 麻酔科	内科 呼吸器	外科	精神科	内科 内分泌・代謝	(北里) 救急		

②佐渡総合病院 産業医資格取得プログラム

研修分野		研修施設	期間
必修	内科・一般外来	佐渡総合病院	28週
	外科・小児科・産婦人科	佐渡総合病院	各4週
	精神科	佐渡総合病院・新潟大学病院	4週
	救急	佐渡総合病院	8週
		北里大学病院・新潟市民病院 新潟県立新発田病院	4週
	地域医療	佐渡市立両津病院	4週
選択	麻酔科、放射線科等	協力型病院・協力施設	44週
	保健医療行政	新潟県庁	4週

- ・構成、救急部門研修は、①プログラムと同様
- ・選択科目においては協力型病院、協力施設で最大12週の範囲で研修可能である。

研修スケジュールの例

1年次	内科28週 (一般外来含)		小児科 4週	産婦人科 4週	精神科 4週	救急12週 (当院8週/北里大学4週)
2年次	外科 4週	地域医療 4週	新潟県庁 4週	選択40週 (協力型病院、協力施設12週以内を含)		

研修医のスケジュール (抜粋)

ターム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
研修医 2年目	耳鼻咽喉科	(長岡) 耳鼻咽喉科	(長岡) 放射線科	新潟県庁	精神科	(新大) 麻酔科	腎臓内科	地域医療	小児科	未定	産婦人科	産婦人科

3 病院基本情報

令和8年4月現在

基幹型研修病院：厚生連佐渡総合病院

病床数354床（一般290床、精神60床、感染4床） 医師数58名（うち研修医10名）

診療科 25科 内科、神経内科、消化器科、呼吸器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、小児外科、心血管外科、泌尿器科、産婦人科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、精神科、形成外科、歯科、口腔外科、呼吸器外科、放射線治療科、リハビリテーション科

年間退院患者数：5,336人（令和7年度実績）

一日平均入院患者数：272人（平均在院日数 一般 14.9日、精神 56.9日）

一日平均外来患者数：983人

救急医療の実績：6,845件（うち診療時間外 5,478件）

救急車取扱件数：2,248件（うち診療時間外 1,367件）

4

研修管理委員会

研 修 実 施 責 任 者	佐藤 賢治	外 科	病 院 長
研修管理委員長プログラム責任者	後藤 文洋	小児科／地域医療	小 児 科 部 長
研修管理委員副プログラム責任者	和田 真一	内 科	診 療 部 長
研 修 管 理 委 員	鈴木 啓介	内 科 ／ 救 急	副 院 長
	三瓶 一弘	神 経 内 科	副 院 長
	川崎 昭一	巡 回 診 療	地域連携支援部長
	梅澤 源之		事 務 長
	川上 善博		看 護 部 長
	協力型病院、協力施設研修実施責任者		

5

研修の評価

研修の評価は、研修医自身と指導医がそれぞれ評価を行い、各科目が終了した時点で研修管理委員会に提出します。研修管理委員会はこの評価の記録を保管するとともに、結果を研修医並びに指導医へフィードバックし、未達成の項目があれば更に研修が受けられるよう支援します。基本(内科、小児科、外科、産婦人科、精神科、救急)並びに地域医療が終了した時点で未達成の研修項目がある場合には、選択期間の一部で該当の研修を行います。

6

研修修了の認定

研修管理委員会は基本科目、必修科目が終了した時点でそれまでの研修評価をまとめ、到達度を判定します。基本、必修科目に未達成の項目がある場合は選択科目の全部または一部を振り替えて、該当科目の研修を行います。

研修管理委員会は全ての評価を総合し、研修目標が達成したと確認した場合その旨病院長に答申します。病院長は研修管理委員会の答申に基づいて研修修了を認定し、臨床研修修了証書を交付します。

研修医の処遇

身 分：常勤

勤務時間：8:30～17:00

休 暇：休日 土・日・祝祭日

：有給休暇 1年次 年間10日間

2年次 年間11日間

：年末年始休暇あり

：その他特別休日1日あり

日当直：2年次のみ月平均3回

(宿直2回、日直1回)

：1年次は午後9時までの副直 月2回

給 与：【月額】

1年次 基 本 給 358,300円

離島手当 100,000円

諸 手 当 厚生連規程により支給

月額平均 500,000円程度

2年次 基 本 給 388,300円

離島手当 100,000円

当直手当 19,400円/回

諸 手 当 厚生連規程により支給

月額平均 600,000円程度

賞 与：なし

宿 舎：あり

単身用(借上住宅1K～2K)

家賃一部負担有

(2,000円～6,000円)

世帯用 ※ご相談に応じます。

研修医室：あり

社会保険：あり

健康保険：新潟県農業団体健康保険組合

年 金：厚生年金

雇用保険：あり

医師賠償責任保険：

病院において加入。個人加入は任意

健康管理：年2回の健康診断

外部の研究活動

：学会・研究会への参加 可

：学会研究会への参加費用支給 あり

(2年間200,000円以内)

赴任旅費：引越代金支給(規定により上限あり)

研修終了後の進路

研修後の進路については、病院長はじめ研修管理委員会は誠意を持って相談に応じます。

令和8年度研修医募集要項(令和9年度採用)

- 1) 定 員：①佐渡島臨床研修病院群研修プログラム 5名
②佐渡総合病院 産業医取得可能プログラム 1名
- 2) 募 集 方 法：公募
- 3) マ ッ チ ン グ：参加
- 4) 募 集 資 格：既に医師国家試験に合格した者、および令和9年3月の医師国家試験受験予定者
- 5) 申込み締切日：令和8年8月14日(金)まで(但し、9月中旬まで調整可能)
- 6) 選 考 方 法：面接
- 7) 面 接 会 場：佐渡総合病院(オンライン可能)
- 8) 面 接 日：令和8年8月17日(月)～9月4日(金)(但し、受験希望者により9月中旬まで調整可能)
- 9) 応 募 書 類：臨床研修申込書、履歴書(様式自由)、健康診断書、卒業(見込み)証明書
(研修申込書、履歴書以外は後日可)
- 10) 書類提出先：佐渡総合病院 医局事務 山本 悦子
〒952-1209 新潟県佐渡市千種161番地
TEL (0259) 63-3121
FAX (0259) 63-6349
e-mail medioffice@sado-hp.jp
- 11) 病院見学/実習：何時でも受け付けています。上記まで気軽にお問合せください。

指導医からのメッセージ



プログラム責任者 後藤 文洋

当院は島内最大の総合病院であり、ほぼ全科が揃っています。新生児から成人、高齢者まで人生を診る経験ができます。また離島の病院のため、ある程度の医療は当院で完結させる責務があり、プライマリーケアから外傷等まで幅広い疾患が学べます。2つの大きな軸を持った当院で研修してみませんか。



副プログラム責任者 和田 真一

そうなんです、佐渡でも臨床研修ができるんです。佐渡には修学旅行でしか行ったことがない、とか、そもそも佐渡ってどこだっけ、とか言ってるあなた。あら、もったいない。(あまり更新されていないけれど) 当院ホームページの研修医ブログを見てください! ほら、島ならではないのか、本当にいろんな人が集まって研修していますよ。そして、こんなに楽しそうなのに、なんでかわかりませんが、みんな立派に成長するんです。まずは見学、実習、(←面倒な方は飛ばしてもよし)、マッチング、そして研修ははじめましょ。お待ちしております!



先輩からのメッセージ

研修医 小居 結

佐渡総合病院での初期研修の魅力は、「大きな裁量権がありながら、高い心理的安全性が担保されていること」だと感じています。「自分のペースで一步步医師として成長したい」と考えている方には、自信を持っておすすめできる環境です。

当院は島内唯一の急性期病院であり、感冒や胃腸炎といった軽症から、多発外傷・急性心筋梗塞・脳梗塞といった重症まで、幅広い症例が集まります。研修医は救急外来でのファーストタッチを担当し、問診・診察から検査オーダー、治療方針の決定まで、主体的に関わります。一方で、常に上級医がバックアップしてくれる体制が整っており、困った際にはすぐに相談できます。また、救急外来を受診した患者さんは原則として後日外来でフォローするため、その後の経過をカルテで追うことができ、専門科からフィードバックをいただけることもあります。一つひとつの症例にじっくり向き合いながら診療できるため、日々確かな成長を実感しています。自由選択期間が44週と長く、必修の小児科・産婦人科・精神科もすべて当院で研修可能なため、ローテーションの自由度が高い点も特徴です。興味のある分野や自身の課題に応じて、随時ローテーションを変更できます。各科での研修も、手技も含め希望すれば何でも経験させてもらえる環境です。それでいて、研修医のいわゆる“duty”は少なく、定時に帰宅できる日も多いです。夜間・休日の呼び出しも希望制であり、オンとオフのメリハリをつ

けて働くことができます。

基幹型研修医の出身大学は、全国津々浦々、さらには海外にも及びます。また、当院は関東の有名病院の地域研修先となっており、幅広いバックグラウンドをもった同期・後輩から、日々刺激を受けながら研修しています。

佐渡での島暮らしそのものも研修生活を豊かにしてくれています。雄大な自然が四季折々の表情を見せ、釣りやSUP、ダイビングなどのアウトドアも楽しめます。世界遺産の佐渡金山をはじめ、観光地も豊富です。海鮮はもちろん、お米・野菜・果物・日本酒など、佐渡は本当に美味しいものばかりで、1年住んでもまだ行きたいお店が尽きません。島を満喫する時間的・金銭的な余裕を持ちつつ、充実した私生活を送れています。

離島と聞くと不便なイメージを持たれるかもしれませんが、実際には想像以上に暮らしやすいです。生活に必要なお店は病院周辺に揃っており、某ネット通販も翌日配送です。新潟市までは高速船で約1時間、島民割引を利用すれば往復5千円ほどで移動できます。

“百聞は一見に如かず”とはよく言ったもので、ぜひ一度見学にお越しいただき、佐渡の空気や病院の雰囲気や肌で感じてみてください。研修医一同、心よりお待ちしております。

研修医ブログはコチラ→



◆ 病院紹介



屋上ヘリポート



屋上庭園



手術室



講演会 (講堂)

自然豊かな佐渡で
研修生活を
送いませんか



新潟県厚生農業協同組合連合会

佐渡総合病院

〒952-1209 新潟県佐渡市千種161番地

TEL:0259(63)3121(代表)

<http://www.sadosogo-hp.jp>

E-mail:soumu@sado-hp.jp

